

ウィズ（共に）

With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信

1995年9月号

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

あきた共同作業所

7ヶ月を過ぎて

下山 桂子

あきた共同作業所の開所から7ヶ月過ぎようとしています。その間、いろいろな事があり、悩み考えることも少なからずあったようです。私は、4月より作業所のお手伝いをするようになりました。

今では、こういった仕事をした経験も無くどちらかといえば”福祉”には無関心なほうでした。今は、多少の知識も増えてきていますが、それでもまだまだ人に考えられ助けられなければなりません。あきた共同作業所の所生みんなにも、それぞれ個性があり、自分の得手、不得手などあって、その中で、わかることは考えてあげて、逆にわからなかったことを考えられています。今まだヨチヨチ歩きあきた共同作業所ですができる努力はしていますので、これからも暖かい目で見守ってください。よろしくお願いします。

労働センターは頑張っているぞ！

☆☆☆ 労働センターがこの秋に贈る二つの催し ☆☆☆

◎10月のミニ講演会

熊本学園大の羽江先生の講演会

「部落解放運動からみた障害者解放運動」

10月3日（火） 午後7時より 労働センターにて

◎11月のハートフル講演会

東弁護士の講演会

みんな集まれ!!

「法律からみた今日の障害者問題あれこれ」

11月12日（日） 午後1時より 大江市民センター

※古本のバザーも同時に行います。（どんな本でもセンターまで持って来て!!）

24時間TVに参加して

今年も8月26・27の2日間「24時間テレビ」のイベントがサンロードで行なわれ、労働センターも紙すきと物品販売で参加しました。小学生と親子づれの人が1人で2～3枚作る人がいましたが、最初の日には30枚ぐらいしかできませんで、少しさみしく思いました。2日目は日曜ということもあって、昼過ぎぐらいから人が増えて良かったと思いました。



どやっぱり家族づれがほとんどでした。私としてはいろいろな人に紙すきしてほしかったと思います。今年は紙すきにあまり反応がないなあと思いました。特にアベックの人は、何の反応もなかったようでした。それでも2日間で133枚ぐらい？出来ました。

当日は、共生社とパック連からも手伝っていただいてありがとうございました。

吉村 春美





ハートフルムービーの打ち上げをして

8月19日土曜日の3時～6時まで労働センターにて打ち上げをしました。参加して下さった方は協賛金依頼やチケット売りに協力頂いた方や当日お手伝いしてもらった方々でした。まずセンターから自己紹介と感想をいって、参加者の方に自己紹介と感想をそれぞれいってもらいました。その後ハートフルムービーの決算報告をしながら焼肉を食べたりジュースを飲んだりそれぞれに話が盛り上がったのしかったです。

「赤字になりませんでしたか」と聞かれたので「今回も皆さんに心配をして下さいましたが赤字にはなりませんでした」と答えました。

これも皆さんがセンターを応援して下さいたお陰で無事に終わることができました。

お忙しい中を打ち上げに参加して頂きありがとうございました。

これからも労働センターへ御支援御協力をよろしくお願いします。

野口美枝子

平和を考えるシンポジウムに行っの感想

8月26日に戦後50周年平和を考えるシンポジウムが熊本市市民会館でお昼の13時30分～夕方17時までありました。労働センターからは5名が参加しました。はじめにアニメ映画の「うしろの正面だあれ」の映画上映でした。あとから急に涙が止まらず悲しくなり泣いてしまいました。そのわけはどんどん東京大空襲で人達が亡くなって行き、捨てられた人達を見て、かわいそうに思っ胸がつまってしまったからです。

そして15時に上映が終わって、会場インタビューでした。私は会場インタビューの時に一言感想を言いました。

そして15時40分～17時までディスカッションがありました。私と同じ席に座っておられた方が、自分の名前と年齢を言っ下さいと言われたので自分の名前と、年齢を言いました。

最後になりましたが、時代が変わっても私は二度と戦争を起こしてはいけないと思っいます。



市瀬恵

おてもやんだより

松田美知子

ハートフルムービーに行っ

7月21日、熊本市の総合女性センターでハートフルムービーに出席するために、森永先生のワゴン車で中根さんと出発しました。会場では澤田さんの講演があり、かなり鮮明に施設の事に触れて話され、興味深く聞かせてもらいました。

私の施設時代

そこで、ちょっと昔のことになりますが、私が入所した施設の事も触れてみたいと思っいます。そのころ無職だったので、技術を身につけなくてはと市の相談室に行きますと、県の更生指導所を勧められました。ところが、あいにく時期が外れていましたので菊地の西合志の白鳩園に行くことになりました。

よく施設は辺鄙（へんぴ）な場所の景勝地にあると申しますが、白鳩園も例外ではありませんでした。二回も電車を乗り換えて、森をバックに白い建物が見えた

は爽快な感じがしました。

しかし、両手に荷物を持った母は

「一日がかりだから、行ったらこれが最後かもしれないよ」

と思いなおすように言うのですが、私としては自分と同じ障害者の生き方に興味もありましたし、ここでやっていこうと思う決心は揺らぎませんでした。

最初に園長先生の部屋で決まりなどを聞いたあと、母は事務所に入園手続きに行きましたが、私は女性の部屋に案内されました。一番端の部屋でベッドが4つ並べてあり、空いているベッドがあてがわれましたが、カーテンで仕切っており病院という感じでした。

母が帰った後、しょんぼりしていると、

「親から離れたのは初めてみたいね。ここで実習するなら洋裁、できれば編み物がいいよ。何でいったって銭になるからね。親や兄弟なんてこの年になると当てにはならないよ。若い人にいろいろと教えてんだ」

と煙草をふかした松葉杖の先輩がいて、子供扱いされてしまいましたが、本当に物の分かった先輩で、その後の私の人生を大きく変える助言をしてくれました。

授産施設での仕事

起床は7時からで食事は8時からです。誰からともなく声をかけあって食堂に行き、棚からセットを取りテーブルで食べました。食事はなかなかでして、近くの農場試験場から新鮮な果実や野菜が届けられ、いつも美味しくいただきました。食べにいけない人は部屋で食べていたようです。例えば目の悪い姉妹（他は兄弟で別れていた）は二人部屋でいつも食べていました。

食べ終わると、食堂のある棟の仕事場に行っていました。

9時になると、白衣の指導員が来られ「さあ、始めますか」の声で働きます。授産作業とはいっても毎日タオルの糸切りや目打ち、ポケットの裏返しで私の希望する洋裁とは程遠い内容でした。「〇〇さんは500枚頼まれたから頑張ろうね」と電動ミシンのできる〇〇さんはよく励まされていました。

でも、後で分かったのですが、仕事の出来る人は賃金が多いのは当然として、障害の等級によって年金が出ていましたので、障害は軽いけど手に障害のある人は賃金も少なく年金もほとんど出ませんでした。つまり私がそうなのです。私は歩けますし、手の障害も、字が何とか書ける程度なので、障害の等級が低くて年金がでません。かといって手仕事がさばけるというわけではありません。だから私は衣食住まで、親に負担してもらい、ずっと送金してもらっていました。まったくただ奉公で、今なら文句言ってたかもしれませんね。

セクハラか愛か

そうそう、澤田さんのノック事件（With6月号）で思い出したのですが、あ

るとき、女子の風呂に男性が入ってきたんです。私は気が強いので胸をタオルで隠して「なによ。あんたは？」と肩を突いたのですが、周囲の女性は気にもせず脱いでいたので、それにはもっとびっくりしました。後で聞くと、「彼は車椅子の婚約者の世話をしてた」ということでした。今だったら絶対にセクハラですよ。もうひどいというか呆れて物も言えませんでした。

でも、ちょっぴりうらやましく思いました。本当にそんなに尽くしてくれる男性がこの広い世界にいるかななんて考えちゃいました。で、仕事よりも結婚を思うようになり、園内を探したらいたのです。そして思いが伝わりました。もちろん一番仕事ができる彼でしたので、母に話しますと私が帰ってくるだけで嬉しいらしく、家を用意しとくから早く出ておいでという返事でしたが、その後いろいろとありまして・・・。

それはまたいつの日にかお話ししましょう。

ぶらっときたよ

（母を連れてJR初体験）

今回、母と広島までJRで旅行することになった。広島出身の母は中国の旧満州で父と結婚し、戦後引き上げて熊本に来了。3年前に脳梗塞を患うまでは何事にも積極的な性格だったが、ほとんど歩くことが出来なくなって家に閉じこもってしまった。周囲から勧められたので申請すると、1種1級の障害者に認定された。現在78才である。

体が不自由になったせいからか、望郷の念はますますつのり、私が東京に行くことになったので、「広島に連れていこうか」と言うと、「次の機会でいいよ」と遠慮したような口ぶりであったが、内心は子どものように喜び「広島に帰ってくる」と親戚にはしゃいで電話していた。

さて、問題は交通手段である。いろいろ考えた末に、私が一人でJRを利用して広島の母の妹のところまで連れて行くことにした。熊本駅の場合、1番ホームは改札口のすぐ横に列車が到着するので問題はないのだが、他のホームだと連絡橋を渡らなくてはならない。電話で列車の予約をすると、「事前に連絡があれば問題有りません、階段昇降機で移動できます」という返事に安心した。

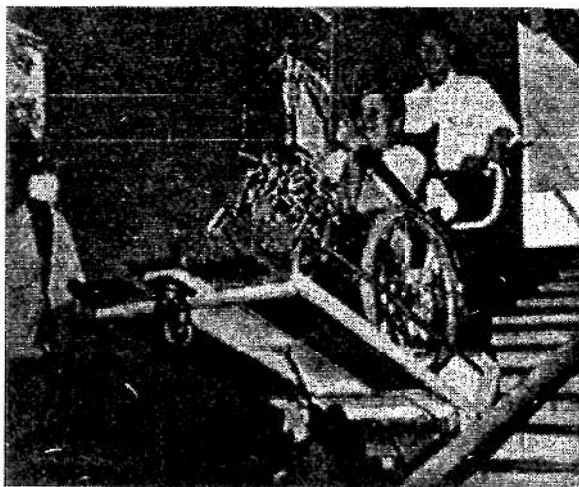
緊張と不安の熊本駅

何事も初めての経験というのは不安なものである。上りの列車は2番ホームに到着するので連絡橋を渡らなくてはならない。車椅子の事は駅に確認を取っていたのであるが、不測の事態に備えて妻や長男にも見送りに来てもらい、朝6時45分発なのに6時過ぎにはもう熊本駅に着いていた。

着くとすぐ改札口に向かい、「2番ホームの有明に乗ります」と改札口の駅員に説明して、階段を上がる手順を説明してもらえると期待していたところ、「事前に連絡しましたか」と不機嫌な顔で返事が帰ってきた。あれだけ切符を予約するときに説明し、買うときにまた説明して何度も確認したのに、連絡されてなかったのかと愕然とした。「切符を買うときに説明しましたよ」と言っても、きちんとした返事が返ってこないのが不信感はいよいよ高まってくる。もはや家族で車椅子を抱えて階段を渡るしかないのかと覚悟したが、釈然としないのでさらに文句を言ったら、「そんなに言わないでください、まだ係は寝てますから6時半になれば、階段昇降機で渡れますから」とやっと納得のいく返事が返ってきた。この返事でやっと私の緊張もとれて、少人数で運行している朝のホームを見渡せるようになったのだが、何が問題なのかと考えてみようとしても、まだまだ感情が高ぶっていて冷静に考えられなかった。

恐怖の階段昇降機

6時半きっかりに別の駅員が起きてきて、キャタピラ付きのリヤカーのようなものを押して来た。階段の下で乗るように指示されたので、母が車椅子のままこわごわと乗ると、昇降機の上半部が車椅子を乗せたまま突然後ろにガクンと45度ほど倒れたのである。45度に倒れたのは階段を昇るときは車椅子が水平に保たれるためだが、この後ろに倒れるときに怖いのだそうだ。キャタピラで階段を昇っていく



とき、母は泣きたいのをぐっと我慢して目を閉じていた。広島から帰るときも「1番ホームに列車が着いて、階段昇降機に乗らんでよかならね」と繰り返していたのは、よほど怖かったからだろう。結局帰りの「有明」は1番ホームに到着したので、母の願いは聞き届けられた。そのときの母のほっとした表情が忘れられない。

私は階段昇降機の横にいて何もすることなく、安上がりで便利な機械ができたものだ、むしろ感心していた。事の当事者と傍観者というのは、

だいたいこんな関係なのだろう。

特急「有明」の通路を車椅子が通らない。

そんなこんなでやっと特急「有明」に乗ることが出来た。それから先は熊本駅→博多駅→広島駅と駅から連絡が申し送りされて、各駅で助役さんが出迎えておられ



てスムーズに新幹線に乗り換えることができた。

困ったのは特急「有明」にしても新幹線にしても車椅子で通路が通れないのである。それで新幹線では多用途室という個室を用意してもらった。障害者と介助者の二人は入れるのだが少々狭すぎると思うし、暗い。帰りの特急「有明」の普通の席に移動したときはむしろほっとしたくらいなのであるから。しかし多用途室の長所もある。それは新幹線の障害者用トイレのすぐ側にあることである。

V I P 級の待遇

熊本駅で少々トラブルがあったのは、駅員の対応が十分とれない早朝だったからと思う。もし普通の時間(?)だったら、熊本駅でも博多駅や広島駅と同じようなサービスを受けられたのだろう。

博多駅や広島駅ではエレベーター（ただし荷物用）があるので階段昇降機のお世話にならずに済んだのだし、広島では助役さんにタクシー乗り場まで案内してもらった。親戚からは「V I P 級の待遇をうけたね」と冷やかされたそう。

J Rでは障害者に対してこのような対応が取れているのだから、やろうと思えば障害者の一人旅だってできるようだ。しかし博多駅や広島駅にしても、車椅子を押していくと階段の塊のように見え、介助者なしでは動けるところは少ないし、そこから続く地下街も階段だらけである。地下街に行くにも、地下鉄に乗るにしてもほとんどエレベーターはない。一人では気づかなかったことが、母と一緒に行動することによって見えてきた。駅員によるサービスでは限界がある。今以上に高齢者や障害者がJ Rを利用しだしたら、いまのやり方で対応できなくなるのは目に見えている。熊本駅でのトラブルも駅員が対応できない早朝だったからだ。

エレベーターやスロープの設置など交通のアクセスに関することは、アメリカ障害者法（A D A）でも大きな柱である。J Rなどの企業努力に任せるだけではいつまでも現状のままではなかろうか。高齢者の問題は健常者の明日の問題でもある。一刻も早く法律的に日本の交通のアクセスを保障できるようになってもらいたい。そんなことが見えた旅であった。



先生と言われて40年（2）

一甲 宣男

養護学校で

算数でこういう問題があったのです。

では今からここにある黒板で算数の勉強をしますよ。

$$\begin{array}{r} 23 \\ +16 \\ \hline 12 \end{array} \quad \begin{array}{r} 48 \\ +21 \\ \hline 15 \end{array} \quad \begin{array}{r} 63 \\ +29 \\ \hline 20 \end{array} \quad \begin{array}{r} 74 \\ +38 \\ \hline 22 \end{array} \quad \begin{array}{r} 98 \\ +23 \\ \hline 22 \end{array}$$

10問くらいこのような2桁の足し算をしてもらったのです。そしてこういう間違いをしていました。私は「やっぱり」と思いまして、この答案を10分くらいじっと見つめていたのです。そしたらこれは全部あってるんですよ。「アアッ！」と気がついたんです。「これはマルたい、全部おおとるたい」と思わず声を上げてしまいました。皆さんわかりますか。これはある一定の法則において全部マルなんです。（うーんという声、なかなかかわったという声は会場から出てこない。一人「わかりました」という声）

普通学級におるときは何十人もおるから、パツ、パツ、パツと採点をして0点としていたんですよ、ところが養護学校では少人数なもんですから、ゆっくりみれるんですよ。そしてゆっくりみて「やっぱ、間違ごうたばいな」と、さっき言ったあの「やっぱり」が出てきよったんですけど、それでもじっくり答案を見ていたらパツとひらめいたのが、この法



則。わかりますか。そして繰り上がりもできてるんですよ。知能指数60ですよ。

第1問は2と3で5、1と6で7、合計12。第2問は4と8で12、2と1で3、合計15です。ほら、あってるでしょう。（「うーん」と会場から声）すべての答えがこうなってます。

で、知能指数が60で「この人はこういう計算しかできん」とばいなあ」と思っていましたところが、とんでもないですよ。繰り上がりまでできるんですから。その子が1年たったら、知能指数が100になりました。

それで、養護学校というところは、よかばいな、さすが養護学校と思ひよりましたよ。知恵遅れの人かふつうの人になったんですからね。それであっちこっちで、いばってたんですよ。養護学校はよかよ、知能指数が60の人が100になるところだよとね。

そう思っていたのですが、とんでもないですね。ある人から言われたんですよ。「いや、それはね、『知能指数』と言う言葉があるなら、その子は初めから健常児だったんだよ。家庭環境とか、学校の中での処遇の状態によって『知恵遅れ』の状態になったんだろう」と。家庭の中での環境とか、学級の中での環境とか、そういう子どもたちの成長の過程における環境というのが、非常に大事なのだということがわかってきました。労働センターの野口さんをみてください。野口さんのことはまた後で話します。

養護学校や特殊学校で学んだことは、前回ふれたことと、この二つだったですね。

特殊学級が増えた

では、なぜそんな子が養護学校に入ってくるようになったのでしょうか。

私が先生になったのは、昭和30年（1955）です。そのころから教育が変わっていったのです。昭和36年に学力テストが始まって……。

一昨年（1993）ぐらいから学校では生活科という勉強が始まったのですよ。いわゆる体験学習が。体験学習というのは、実は昭和33年頃に無くなったんですね。それから教科の勉強、つまり覚える学習というのが非常に増えてきたのですね。そして教科書が難しくなってきた、受験体制になって行き、普通の子たちが特殊学級にどんどん入ってきたんです。

昭和40年ぐらいから、特殊学級の数がものすごく増えてきたんです。これはグラフに書いてるんですけど、一番手前の昭和34年には、熊本県に特殊学級は城東小学校にただ1学級しかなかったのですよ。ところが昭和44年には170に増えています。特殊学級の数が急激にずうっと増えてますね。いわゆる普通学級の中で勉強についていけない子たちが、どんどん特殊学級とか養護学級とかに送り込まれてきた時代が昭和30年代です。

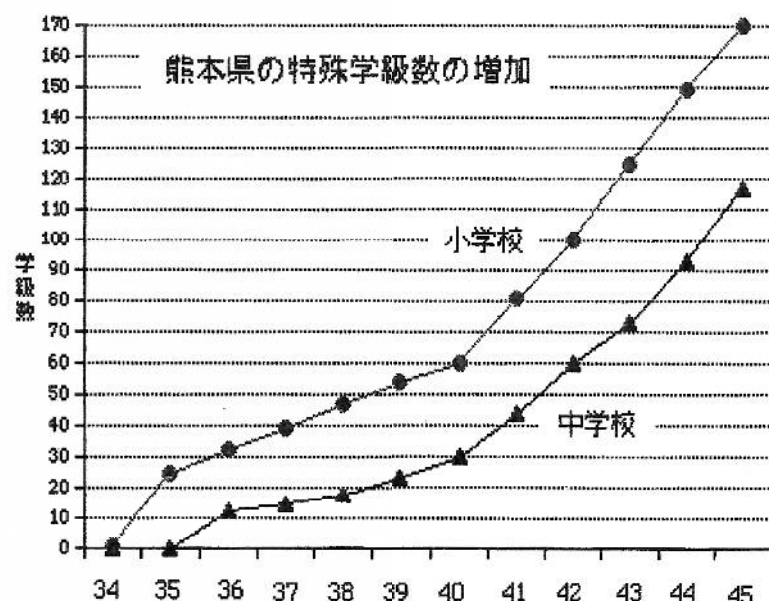
わたしも悪い言葉ですけど「精薄」という言葉を使っていました。それで「精薄狩り」なんていう言葉を使って、普通学級の中に知能検査をしに行って、「あなたは特殊学級がいいですよ」なんて勧誘に行ったこともあるんですね。託麻東小に知能検査をしに行って、「この子とこの子は特殊学級がいいですよ」なんて、啓蒙なんて言葉を使っていましたけど、そういう言葉でやった覚えがあります。今は恥ずかしくてしかたがありませんけどね。

そういう時代だったのが、昭和30年から40年の初めだったのです。だから普通学級でこういう計算が出来なかった子ども（本当は出来るのだけの力がある子ども）が普通学級から疎外されて、特殊学級や養護学校に追いやられていった時代だったのです。

いわゆる日本が、「アメリカやイギリスに追いつき、追い越せ」と言っていた時代です。教育もまさにそういう「追いつき、追い越せ」という時代でした。つまり

高度成長時代です。私が先生になったときは、先生は誰も車を持ってませんでしたよ。今、先生たちは皆車を持っていますね。初任の時は自転車で、いや自転車じゃなかったバスでした。自転車を買ったのは半年後、それもやっと「講」で買いました。「講」と言うのは、10人なら10人集まって1人1000円ずつ出し合えば一万円になるでしょ。それで、その中から抽選で当たった人が買えるのです。そういう時代でした。金もなかったけど物が無かった時代です。

日本人が下駄を履いていた頃、アメリカでは各家庭に車があった時代です。私が先生になってしばらくして



「おい学校の先生だって車の買える時代のくるぞ」

「いや、そぎゃんこつのあるもんですか、学校の先生の安月給で」

それから10年くらいして昭和40年くらいになると、先生たちが車を買いだしたのです。高度成長の時代が来て、教育もどんどん進歩して(?) きました。私が高校に行く

ときは、中学の卒業生の半分も高校に行きませんでした、今はほとんどの人が高校に行くでしょ。それにつれて受験体制というのが厳しくなって、こういうことがわからん人は特殊学校へ行けと追いやられていったんです。

私が先生になったときは、非常に重い知恵遅れの人が私の学級にいました。ところが昭和40年ぐらいからはもう、学級にはそういう勉強の出来ない人は特殊学級や養護学校に行くのが当たり前になってしまっていてわけですね。なぜかという、国の方針でそういう学級を作ってきたのですから。だから、勉強が出来る人だけが役に立つ人で、もう知恵が遅れている人や、身体に障害がある人は別のところで勉強して、別なところで暮らささいという考え方があったのではないかと思います。

そういうことで危機感を持ったのが障害のある人たちの中にいました。次回ではその人たちとの出会いを話します。(つづく)

天守閣に昇って

今年の10月7日から三日間に亘って、車椅子市民集会が開かれ、その最終日に『天守閣へ昇ろう』というイベントがありまして、そのリハーサルが8月28日にありそれに参加して良かったなあーと思っています。

天守閣へなんて昇れないと思っていたのに、自衛隊の方達やボランティアの方達に助けを借りて車椅子の人たちを、だっこしたり、負んぶしたりして下さり、何とか無事に昇る事ができました。

私は、天守閣に昇る事は初めてだったので感激しました。でも私自身は不安も恐さもありました。というものの私の体は緊張が激しくておんぶするにも股関節が開き難く、肩にも捕まれないので、ただおんぶして下さる方の背中に乗っているだけで、少し不安でしたが時間がたつにつれ、その不安も消えて行きました。本当にこの企画を立てた方々やボランティアの方達、自衛隊の方達にも心から、ありがとうという言葉でいっぱいです。

今度の車椅子市民集会の本番も多くの方達が楽しいそして勉強になる三日間を過ごさる事を祈っています。

池田 百合子

シリーズ20

アルコール依存症を知る

1.感情とは何か

環境や体の内部からの刺激に伴って起こる。心の変化、内面の感じを感情という。美しい景色を見て爽快になる、人から嫌味を言われて腹を立てる、激しい痛みを感じて不安になるなどのことは、感情の動きである。

感情はその起こり方や性質によって、いろいろに分類されている。視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚など五感の刺激に伴って起こるものを感覚感情という。腹が減る、満腹になるなど身体の状態によって変化する感情は身体感情と呼ばれる。喜怒哀楽、恨み、憎しみなど人間関係の中で生じるものを、社会的感情とか心的感情とかいう。音楽や美術作品に接して感動するとか、宗教によって心の平安を得るとかいうように努力や習練を経て初めて味わうことのできるものもあり、これは情操と呼ばれる。怒り、喜び、悲しみなど、身体の動きを伴って激しく起こるが一時的である感情を情動といい、これに対して、うれしい、悲しいなどのように静かに比較的持続するものを気分という。

2.不快感情と飲酒の悪循環

アルコール依存症になると、日常生活は何から何までうまく行かず、劣等感や自己嫌悪、不安や抑うつに悩まされるようになっていく。酔っ払って、すべてを忘れようと思って飲酒すると、アルコールの力で一時的には良い気分になり、何でもできる強い自分がよみがえってくる。しかし、飲めば多くの問題が起きるし、大量のアルコールは、それが切れる頃には気分を抑うつ的にするので、前にもまして不快で何とも言えない気分が酔いが覚めることになる。この気分の悪さをしらふで耐えるのは難しく、また酒に酔いを出してしまう。その酒が覚める時には、さらにいやな気分になる。このように、飲酒によって不快気分を解決しようとする、ますます泥沼にはまってしまうのである。

3.感情は放置すれば消失する

森田療法の創始者である森田正馬は、感情の法則の第一項目でこう述べている。「感情は、その自然発動のままに従えば、その経過は山形の曲線をなし、ひと昇りひと降りして、ついに消失する」と。

この法則は怒りに対して、通用することができる。腹が立つことがあっても、表に出さないで怒りはやがて消えていくのである。相手を罵ったり、ものに当たったりすると、後で損をすることが多い。

怒り以外の不快な感情に対しても、この法則は有用である。嫌な感情でも時間がたてば必ず消えることを頭に置いておけば、アルコールや薬の力を借りることなく、一時の辛抱をすることができるようになる。

4.感情を起こす刺激になれるに従って、感情は鈍くなってくる

感情は何かの刺激があって生じるものである。いい景色を見て爽快になる。家族の死に接して悲しくなるなどのごとくである。感情を生起する刺激に何回もさらされていると、だんだん慣れてきて、感じなくなる。例えば人前で話す時のことを考えてみよう。はじめはひどくあがって緊張するが、何回もやっていると慣れてきて、大勢の前でもそんなに動揺することなく話すことができるようになる。初めて断酒会やAAに行く時には、このことを頭に入れておくといよい。

5.感情は短時間に刺激が断続して起こるとますます強くなる

喧嘩をする時のことを考えるとわかりやすい。罵る、ものを投げる、叩くなどを繰り返しているうちに、怒りはどんどん強まり、自分でも収拾をつけることができなくなる。仲裁に入った者が、喧嘩している者同志を引き離そうとするのは遠ざけることによって、これ以上怒りを引き起こさないようにするためである。怒ってもろくなことがないと思えば、怒りを起こす刺激のあるところから遠ざかるのが一番である。

次号へ続く

熊本シネマランド

編集協力・キネコム

(熊本に映画博物館を創ろう会)

⑥

「マディソン郡の橋」

たった4日間の大人の男と女の恋。求め合いながらも二度と会う事なく終った恋。原作を読みながら、この後は映画化するならイーストウッドだ



など、一人ジーンとなったあの本、「許されざる者」でアカデミー賞を取った彼の第2弾のアカデミー賞候補作品! メリル・ストリープ共演

「君を忘れない」

ヒコキに乗れて、女の子にもモテる。そんな青春のはずだった。ところが、それは帰還することのないゼロ戦だったのだ。パイロット7人に残された貴重な時間を、「居酒屋ゆうれい」の渡辺監督が、熱く、青春物語として描く。



「恋人までの距離」

“恋が生まれる瞬間を、見たことがありますか。”というコピーが期待をもたせる。ウィーンの街、14時間という制限付きの時間。偶然の出会いから恋人までの距離を埋めようとするナチュラルな会話

話が新鮮。ジェネレーションXの感性が光るラブ・ストーリーだ。



「極道の妻たち一赫い絆」

極道10年、返り血も凄艶(つや)のうち。と、第8作が意場。名実ともに極妻の顔となった岩下志麻姉(あね)さん。深紅の着物をきりりと着こなし、夜桜をバックた、男の代りにクジメをつける女の強さ、したたかさを演じては天下一品! 「決着(けじめ)は、わてが・・・」の怒りの啖呵(たんか)には、「いいぞ! 姐さん!」の大声援で応援しよう。主題歌に、熊本出身の八代亜紀の「とおりゆんせ」が唄われ、本人も出演している。極道の世界の抗争、駆け引き、愛欲等、がけっぶちの人間模様が楽しめます。



「レッド・ブルクス」

スゴイですよ。このアクションは。「ダイハード」や「スピード」とは違って本当に、<命がけの面白さ>ですね。これ見ると「おーあぶねえ」とか「うっわーイタソー」読心術を使えない人が見てわかる程、顔に表れます。(絶対に)その位、体張っています! 出演者には、もちジャッキー・チェン、「ポリス・ストーリー」とかに出てくるトン・ピョウ、あと、アニタ・ムイと、名前を知らなくても、見たら「あーこの人ね!」って位、よく共演してる面々だ。もちろん香港映画史上NO1の興行記録を樹立して、全米拡大ロードショーも決定したらしい。熊本にもキャンペーンに来て決めていた! これはぜひ見

て、「痛ソー」と顔をしかめながら楽しんで下さい。





「静かな生活」

1作毎に話題作を提供してきた伊丹十三監督が、今度はノーベル賞作家大江健三郎(2人は高校の同級生で義兄弟!)の原作ものに初挑戦した野心作である。伊丹らしい脚本と演出で、障害をもつ主人公と家族の体験をうわずらず、こびず、程良いユーモアを配し、中身の濃い物語に仕上げた。音楽(大江光)と主人公役の渡部篤郎もいい。後味の快い作品である。

Let's go to the Movies! 9月中旬～

毎月1日は映画ファン感謝デー・劇場により、毎週金曜日のサービスデーあり

熊本東映	☎356-7393	極道の妻たち-赫い絆 (極妻10周年記念)
東宝プラザ	☎352-0952	ウォーター・ワールド ～9/2 レッドブルックス/ジャッジ・ドレッド 9/23～
オリオン座	☎352-0953	耳をすませば/ON YOUR MARK 上映中
東宝1	☎352-1718	学校の怪談/アンネの日記 ～9/22 静かな生活 9/23～
松竹セントラル	☎356-3100	アポロ13(トム・ハンクス・ケビン・ベーコン) 上映中
シネラックス1	☎352-3592	マイフレンド・フォーエバー ～9/22 君を忘れない(唐沢寿明) 9/23～
シネラックス2	☎356-7904	天守物語(板東玉三郎)～9/22 GONIN(ビートたけし) 9/23～

一期一会

たった一日だけの上映会

◆「カストラート」

・バロックの墮天使、声こそが人を狂わす肉体

9/24(日)PM7:00産文

電気館 ☎352-0110

◆「息子の告発」

・母と息子の愛と憎しみの物語

①9/28(木)1PM6:00 ②PM8:20熊本東映

・日中友好協会青年部 ☎364-3309(岩崎)

◆「きけわだつみの声」

・愛する人を守りたかった

10/1(日)大津町文化ホール

熊本東映 ☎356-7393

私の好きな映画 「ON YOUR MARK」

「とってもおもしろいです。7分間という間でも、ちゃんとストーリーがあって、グッドですね、何回見ても飽きないです(実は5回見た)チャゲ&飛鳥に興味ある人はもちろん、「何それ?まだ食べた事ないな」と言う方も、ぜひぜひ一度見て下さい。いいですよ。!(三郎 バイト人の哲)

- ダイ・ハード3
不死身の刑事
マクレーン
- ジャッキー・チェン
乗り込んで来た
ブルックス
- 極道の妻たち
「志麻」の唖呵に
酔いしれる
- 京小町

映画肥後狂句

・投稿募集中/招待券進呈/

FAX 385-3657 キネコムまで

8月の日報

- 1日 メルパルク販売(入江、吉村、緒方)
 3日 平和のつどい(全員)
 6日 郡同研「高森中学校」(福永、野口、市瀬、吉村、緒方)
 24日 九同教大会「福岡」(倉田)
 25日
 26日 24時間TV(市瀬、緒方、倉田、吉村、野口)
 27日 24時間TV(野口、吉村、倉田、市瀬)

編集後記

暑かった夏が過ぎ急に秋めいてきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

労働センターでは「24時間テレビ」に参加し恒例の紙すきを披露しました。結果は吉村さんの報告のとおりで、来年はアベックにも楽しんでもらえる企画も考えたと思います。それからあまり宣伝しませんでした、今月のミニ講演会は宮部さんをお願いしました。「ボランティアの人たちとうまく行きだしたのはいつ頃？」という質問に「自分を好きになったときから」という答えに、宮部さんが歩いてきた重さのようなものを感じました。ミニ講演については後日まとめて本にしたいと思います。

8月の回収

1日	池田さん	3.9Kg
	個人	1.6Kg
	ヤマギシ	94.5Kg
2日	城北小学校	44Kg
	平島さん	0.2Kg
5日	岩下事務機	8Kg
7日	平島さん	0.1Kg
8日	有機の会	40.6Kg
10日	南関第三小学校	22.6Kg
18日	ソロプチミスト	13.8Kg
21日	泗水東小学校	53.2Kg
	サンリー菊陽寿屋	278.4Kg
	機能病院	3.4Kg
	南小国婦人会	96.1Kg
24日	ひかり幼稚園	52.7Kg
26日	ソロプチミスト(さくら)	7.1Kg
	24TV会場	9Kg
28日	長嶺小学校	71.4Kg
29日	ヤマギシ	75.2Kg
30日	台信	45.7Kg

8月まとめ

共生社	3352.2Kg
くまもと生協	1114.2Kg